



新座中だより

学校教育目標
強く 明るく 考える

〒352-0011 埼玉県新座市野火止2-4-1

TEL 048-478-3668

HP <https://j-niiza-c-niiza.edumap.jp/>

新座市立新座中学校

「2月号」

令和8年1月30日発行

最後のスキー教室は“生徒が主役”の結晶となりました

校長 金子 文春

「最高気温：-11℃、最低気温：-15℃」。これはスキー教室3日目となる横手山スキー場のコンディションです。リフトに乗る前にあった指先の感覚が、降りた後ではほぼなくなります。撮影用のデジタルカメラも、極寒状況下で使用不能になりました。しかし、「子どもは風の子」、寒風が吹く中でも、1年生の子どもたちは明るく元気にスキーを楽しんでいました。雪国の厳しい寒さやスキー、初めての宿泊学習を通して、貴重な体験を積むことができました。

「我らの友情“しんじ”てる」。これは、第1学年主任の坂本信二先生のお名前をモチーフにして、生徒たちの考えで作られたスキー教室のスローガンです。私はこれを見た時に、「生徒と教員の仲が良い学年なのだろう」と感じました。しかし、実際にスキー教室に出掛けてみると、「仲が良いどころか、強い信頼で結ばれている」と感じさせられる場面が幾つもありました。

- 教員は生徒を「生徒さん」「1年生の皆さん」「○○の方」と表現。
- 教員は必要以上の指示をしない。しおりに書いてある内容なら、生徒に尋ねられても、優しい声で「しおりを見てごらん」と対応。
- 思い切り楽しむ、耳を澄まして連絡を受ける、のメリハリが絶妙。
- 「しなさい」でなく「すると誰かが助かるのでは」の言葉掛けで生徒の気持ちや動きが変化。日を追うごとに生活レベルが向上。
- インストラクター、宿泊施設の方、旅行業者、バス運転手…。様々な大人に行き届いていた礼節。(対応がとっても自然な感じでした)

教員が細かく指示を出さなくても、強く言わなくても、必要以上に指導しなくても、「皆さんを信頼しています」の信念で貫かれた指導姿勢が1年生に伝わったのか、温かくて和やかな雰囲気の間を過ごすことができました。

本校は“生徒が主役”の学校教育活動を目指しています。今回が最後となるスキー教室では“生徒を大切に作る”のポリシーを全教員が共有することで素晴らしい成果を挙げることができました。この成功体験を日常的な学校運営でも活かしていきたいと思ひます。

